

ボラモン



残暑お見舞い申し上げます。

ボランティア情報誌第51号をお届けします。

今年の夏は、観測史上2番目という異例の早さで梅雨明けとなりました。その分早い時期から連日猛暑が続き、身体に変調をきたした方も多数いらっしゃるかと思います。またコロナ感染者が、県全体でも連日増加し続け、五島市でもコロナ感染者の確認数が100人以上を超えた日もあり、これまでにない高い数字で推移しております。

これまで以上に、コロナ感染症対策にご留意ください。



ボランティアセンターごとう
登録者数

- ・個人：21名
- ・団体：32団体／486名
- 合計：507名
- (令和4年8月31日現在)



2022 ボランティアセンターごとう研修会開催

令和4年7月3日(日)、五島市福江総合福祉保健センター4階ホールに於いて、「災害ボランティア」をテーマに、「2022 ボランティアセンターごとう研修会」が、3年振りに開催されました。

当日は、50名を超える方にご参加いただき、五島市図書館友の会代表：古賀義和様による、読書会や図書館まつり等、日頃のボランティア活動の事例発表に続き、長崎県社会福祉協議会職員の山本孝征氏を講師にお迎えして、「災害ボランティア」についての基礎知識やその意義・今後の課題、また災害ボランティアセンターの立上げから閉所・終結までの流れをご講義いただきました。

研修会後のアンケートでは、図書館友の会の事例発表を、今後の活動の参考にしたいという回答が多数あり、「災害ボランティアについて」の研修にも、「大事なことは、少しでも役立てるようHPで閲覧したい」という声を頂きました。

久しぶりにボランティアの皆さんが一同に会し、ボランティア活動についての知識を学び、有意義な時間を共有することができました。



※写真は、図書館友の会の会長：古賀さん(右)と長崎県社会福祉協議会の山本孝征(左)さんのお二人です！



ボランティア活動の申込・ご質問なら
「ボランティアセンターごとう」

(五島市社会福祉協議会内)
電話：74-5511 FAX：74-5666 (担当：小田)
E-mail：svc@goto-shakyo.or.jp

お知らせ

GOTOふれあいまつり

この秋3年ぶりに、

「GOTOふれあいまつり2022」

を下記の要領にて、開催いたします。

* たくさんの方のご来場をお待ちしています！

<実施要綱>

- 【期 日】：令和4年10月22日(土)
- 【時 間】：10時30分～13時00分
- 【会 場】：五島市福江総合福祉保健センター全館
- 【催し物】：



◆ 売上げの一部が「赤い羽根共同募金」となります。

★露店コーナー

★障がい系販売コーナー

★キッチンカーコーナー

※飲食物の販売はテイクアウトのみ

★フォトコンテスト

★ゲームコーナー

★親子休憩ブース



【主 催】：五島市社会福祉協議会
長崎県共同募金会五島市支会
：五島市子ども未来課

配達ボランティア募集中！！

<募集要領>

- *活動頻度…月1回(第2木曜日)
- *実施時間…15:00～16:00
- *活動内容…ボランティアが作ったお弁当を、見守り希望者宅に配達し、弁当代をいただき、安否確認を行う。
- ※下記のような方、連絡をお待ちしています！
- ①.自家用車で配達可能な方
- ②.運転しているボランティアの補助として参加できる方

(連絡先)
ボランティア担当：小田
TEL：74-5511



去る7/3（日）に開催された、ボランティアセンターごとうの研修会「災害ボランティアについて」後のアンケートに、「情報誌ボラモン」に福江大火や福江大水害についての掲載を望む声が寄せられました。それを受け、五島の災害史に於いて忘れられない大きな被害をだした福江大水害と福江大火について、その体験を風化させず、災害対策に反映できるように、今一度振り返ってみたいと思います。【ボラモン第51号】では、台風到来の時期にあたり、福江大水害について取り上げてみました。折しも今年、昭和57年7月23日大規模な土砂災害や川の氾濫により死者・行方不明者299名の犠牲者を出した長崎大水害より40年の節目の年に当たります。福江大水害からは、早くも半世紀以上（55年）の年月が経過しました。＜参考資料＞ ※「福江大水害～記憶集～」：長崎県五島振興局河港課
※「広報ごとう」～H29年6月号～：長崎県五島市役所

◀ 福江大水害：1967年(昭和42年)7月8日～9日 ▶

＜ ①.災害発生時の背景(気象状況) ＞

1967年(昭和42年)は、年始の寒波に始まり、春先の高温多雨、5～6月の異常渇水に続き、7月上旬の短い梅雨時期に集中豪雨が西日本各地を襲った。その被害は、福江市の他に佐世保市・広島県呉市・兵庫県神戸市と広範囲におよんだ。

＜ 浸水範囲(水色の部分) ＞



＜ ②.福江大水害の概要と被害状況 ＞

昭和42年7月8日旧福江市は、台風7号崩れの熱帯低気圧と梅雨前線による集中豪雨に見舞われた。

○8日の降り始めから9日午後2時頃までの間、300mmを越す降雨量を記録。

○9日午前中の3時間に215mmが集中して降雨。

なかでも、**9時～10時の1時間の雨量は、99.2mm。**

◆福江測候所の最高記録：**85.6mm(S31.10.8)**を上回る記録的な雨量となる。

○午前11時の満潮と重なり、市中心部を流れる福江川が氾濫。

○河川流域の商店街や住居は浸水。崖崩れ・河川護岸の崩壊や田畑の流失が相次ぎ、多くの被害をもたらした。水が引いた後は、汚泥が積み、辺り一面悪臭が漂っていた。

○**被害総額18億円**にもなる大惨事となった。

死者:11名、重症者:7名、軽傷者:24名
浸水家屋:1,700戸、家屋全壊:35戸



床上浸水と一部損壊の住宅



五島振興局(左)五島市役所



避難した住民(開田町)



水に浸かった店舗(和田衣)

＜ ③.大災害からの復旧・復興と災害対策 ＞

～ * 復旧・復興 * ～

○大水害発生の翌日7月10日～12日、三井楽駐屯地の航空自衛隊が出動し、被災地の防疫や整理作業に従事する。

○7月10日午前には、救援物資が到着。その後、お見舞いや救援物資が相次いで届き、被災者へ支給される。

○市役所の福祉事務所に、被災者救済の為の生活相談所が開設。

～ * 災害対策 * ～

○福江川洪水防止のための、福江ダム造設と河川改修工事が立案・実施される。

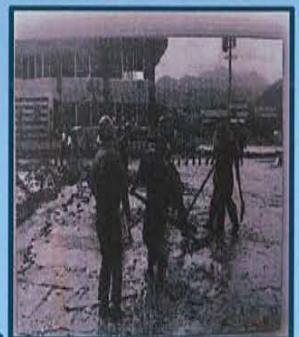
・福江ダムが昭和51年に、河川の改修工事は平成2年に完成。

○福江橋・宗念寺・川橋～唐人橋区間と大円寺付近をショートカット。これにより、川幅が狭く湾曲の為、水の流れを妨げ大きな被害となる要因が解消された。



救援物資の市民への配
福江ダム

る自衛隊
援作に業よ



生活相談所

